



みんなでつくろうふるさと荻島

コミ協おぎしま

2025年(令和7年)10月1日 第59号

発行／荻島地区コミュニティ推進協議会

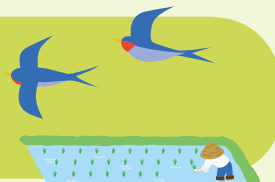
〒343-0804 越谷市南荻島190-1

荻島地区センター・公民館内

☎ 048-974-9555 FAX 048-974-9879



子ども農業体験



田植え体験をしてみよう

5年1組 小指芽生

わたしは、初めて田植えをしました。田の中に入って田植えをしてみたら、思っていたよりも大変でした。けれど、どんどんやっていったら、最初よりも上手に植えられるようになって、とてもうれしかったし楽しかったです。農家さんや地域みなさん、このような体験をさせてくださりありがとうございました。この体験で、農家さんの大変さも分かったし、食べ物もつと残さず食べようという気持ちや、もつと大切にしようと思う気持ちが今まで以上に持てました。今度は、稲かりをがんばりたいです。

田植え体験をして

5年2組 高橋 苺果

田植え体験をしてわたしは、写真で見て思っていたことや調べていたこと以上に大変でとても楽しかったです。わたしは、苗を何個かしか植えていなかったけどもつかれました。わたしは、ごはんをのこしてしまふことがたくさんあります。でも、米を作る人たちが愛情をこめてがんばって育ててくれているのを感じて、少しでも多くごはんをたべようと思いました。米を作るのはとても大変だとわかりました。今日のために、たくさんの人たちがきてくれて感しゃしようと思います。大変だったけど、楽しかったです。おいしい米が育つといいです。



初めての田植え体験

5年3組 加藤 空歩

私は、初めての田植え体験をしました。田植えをする前はとてもきんちようとしていて、ちゃんとできるかなという不安もありました。でも、私の分からないことを全て教えてくださったので、「自分ができる!」という熱い気持ちを持って、田植えができました。最初入った時は、「気持ち悪い」と不快に思いました。でも、さつき持った熱い気持ちを忘れずに、田植えを行いました。すると、自分が思ってたよりも楽しくてどんどん進めました。その時の私は苗に「おいしく育つて」という思いを込めて田植えをしていました。稲かりをするときも、稲に思いを込めたいです。そして私は田植えにきょうみを持ちました。今日私が植えた稲が元気に育ち、おいしいお米になってくれることを信じてます。



荻島地区コミ協
マスコットキャラクター
「いなぽっぽ」



うきうきアメフトスポーツ大会に参加してくださった皆さん、ありがとうございました。3度目の開催を無事に終えることができました。開催当初に比べ、規模が少しずつ大きくなってきましたが、部員数が少ない中でも多くの方々のご協力により、円滑に運営できました。小学生たちの「楽しかった」、「まだやりたい」という声が聞くことができ、この事業をやりきることができたと感じています。これから地域の皆さんに応援されるよう活動していきます。

うきうきアメフトスポーツ大会



文教大学アメリカンフットボール部

主将 石丸 明日翔

花

いっぱい運動
について

荻島地区コミュニティ推進協議会

環境部会長 松沢 浩之

コミ協環境部

会では、地区内環境美化に対する意識向上と地域住民の交流を目指し、今年度も皆さんのご協力により、花いっぱい運動と花いっぱいまつりを無事に行うことができました。ありがとうございました。



4月の種まきから始まり、グリーンカーテンの設置、花の苗の植えつけ、花苗とゴーヤの定植や2度の草取り等を行ってまいりました。

6月に行った花いっぱいまつりも皆さんのご協力により順調に終わりましたが、一般の方の参加を増やすのが今後の課題だと思っています。



この後も11月には冬の花の花植えや草取りもありますので、引き続きご協力をよろしくお願いします。

荻島地区盆踊り大会

荻島地区盆踊り大会実行委員会

実行委員長 関根 久治

今年の荻島地区盆踊り大会は、参議院選挙があり、当初予定より1週間遅れの7月26日の開催となりました。

やぐら組みについては昨年に引き続き業務委託により行い、舞台の飾り付けやその他の準備は、実行委員やスポ・レク委員及び文教大学アメリカンフットボール部の皆さんのご協力により、立派な会場に出来上がりました。

当日は天候にも恵まれ、開始前より大勢の来場者があり、や



きとり等の出店や盆踊りにでにぎわい、久しぶりの組太鼓演奏には大いに盛り上がりを見せるなど、参加者の皆さんのご協力により全プログラムを無事終了することができました。

今後も、皆さんがより楽しめるような盆踊り大会にしていきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いしたいと思います。



おぎしま防災キャンプについて

荻島地区コミュニティ推進協議会

青少年部会長 阿達 富美子

今年度、第2回「おぎしま防災キャンプ」が総勢約50名で開催されました。

防災についての講演では、経験こそ力になる等と、今回のイベントの主旨にも添う内容でした。その他、起震車体験、ダンボール製のベッドやトイレの組み立ては、前回同様、大人気でした。文教大学アメフト部の学生による新ゲーム「ジョーズ」は、椅子を参加人数分横に並べ、椅子に立ち、沈黙の中でミッション（誕生日順や名前の順など）を全員協力して達成するゲーム。声を出したり、椅子から落ちると「ジョーズに食べられるぞ。」と、ドキドキしながら、喜々としてゲームに臨んでいました。

最後に、アルファ米と乾パンの試食をしながら、イベントの感想や質問を話し合うことが出来ました。

近年、多発している地震や雨による災害が身近にせまった際、今回の経験が、子供たちの力となればと思います。



アルファ米・乾パン



段ボールベッド組み立て



起震車体験

青少年健全育成研修会について

青少年指導員協議会

会長 大熊 正行



7月6日、令和7年度青少年健全育成研修会を開催いたしました。

当日は、越谷市男女共同参画支援センターの土方佳氏を講師に招き「大人に知っておいて欲しいデートDVって？」と題した講演をしていただきました。

デートDVの実態や問題点、周囲の大人として被害者や加害者に対して、どのような対応をすべきかを学ぶことができました。特に被害に遭っている方への対応ひとつで取り返しのつかない事案になることを、実例を挙げながら説明していただき、このような情報を知ることの大切さを感じました。

今後も、荻島地区の皆様方のご理解とご協力のもと、青少年の健全育成に取り組んで参りますので、何卒宜しくお願い致します。

編集後記

今年は昨年からの米不足が続き、購入するにも高値が続き、店の在庫も少なく、なかなか今まで通りにはいかない状況になっています。コミ協では今年度も小学校5年生の皆さんと、田植えと稲刈り体験を行っています。体験をした皆さんは、ニュースの内容が特に身近に感じられたのではないのでしょうか。皆さんが、日々、普通にお米を食べられているのであれば農家の皆さんに感謝ですね。(広報部会)